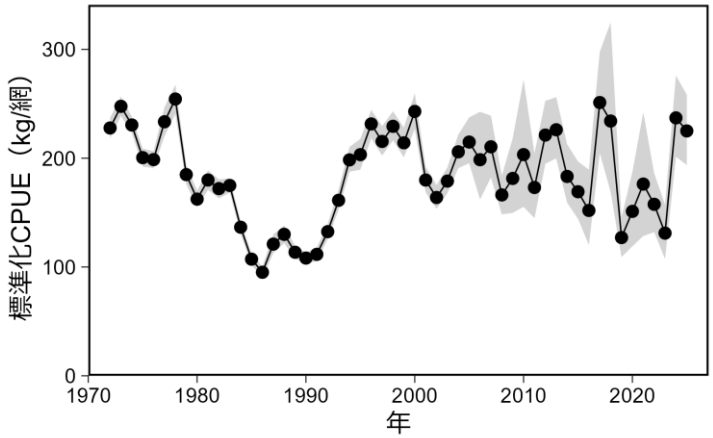
2026年10月30日公開

ニギス（日本海系群）①

ニギスは本州沿岸に広く生息し、本系群はこのうち青森県から島根県に至る日本海沿岸に分布する群である。

図1　分布域

水深60～200mの砂泥底に分布する。成長に伴い分布水深が深くなる傾向がある。



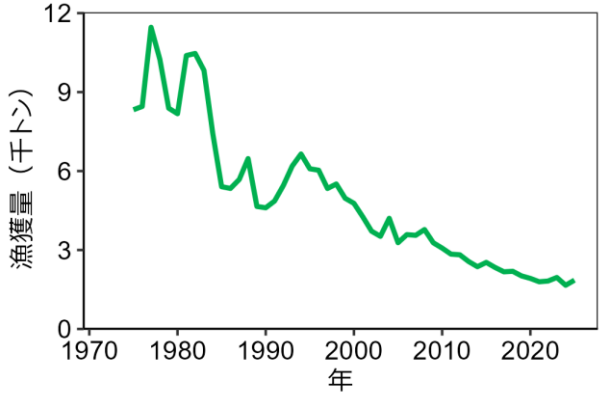


図2　漁獲量の推移

1980年前後には10,000トン前後で推移したが、1980年代半ばから減少し、2025年は1,854トンとなった。

図3　資源量指標値の推移

資源量指標値として、主要漁業である1そうびき沖合底びき網の単位努力量当たり漁獲量（CPUE、kg/網）を標準化したものを用いた。網掛けは95%信頼区間を示す。

1978年には254.4kg/網の高い値であったが、その後1986年の95.2kg/網まで減少した。1990年代は増加傾向となり、2000年には243.0kg/網に達した。しかしその後は短期的な増減を繰り返し、2025年は225.1kg/網となった。

本系群の管理基準値案と漁獲管理規則案は、令和3年度研究機関会議で合意されたものを示した。

ニギス（日本海系群）②

本系群で使用可能なデータは漁獲量と資源量指標値である。したがって「令和8（2026）年度 漁獲管理規則およびABC算定の基本指針」の2系規則を適用する。

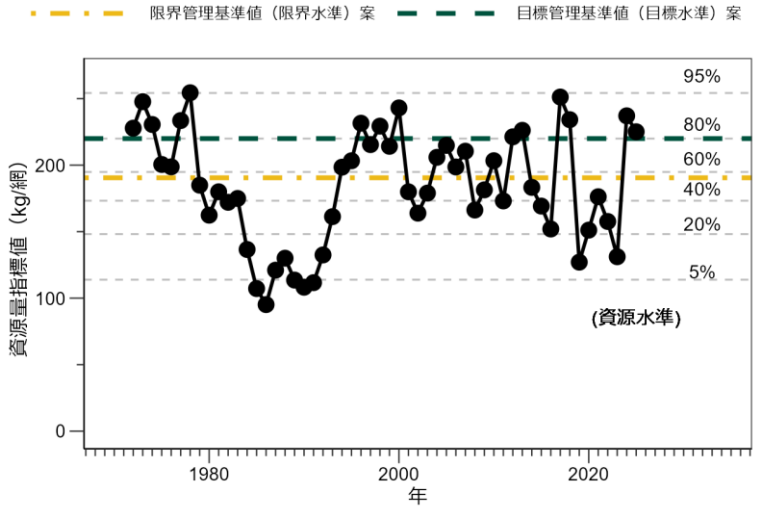


図4　資源水準および管理基準値案

標準化CPUEを資源量指標値（黒線）とし、資源水準に基づいて80%水準を目標管理基準値（緑線）、56%水準を限界管理基準値（黄線）として提案する。

2025年の資源量指標値（225.1kg/網）は83.2%水準に相当するため、目標管理基準値案および限界管理基準値案を上回る。

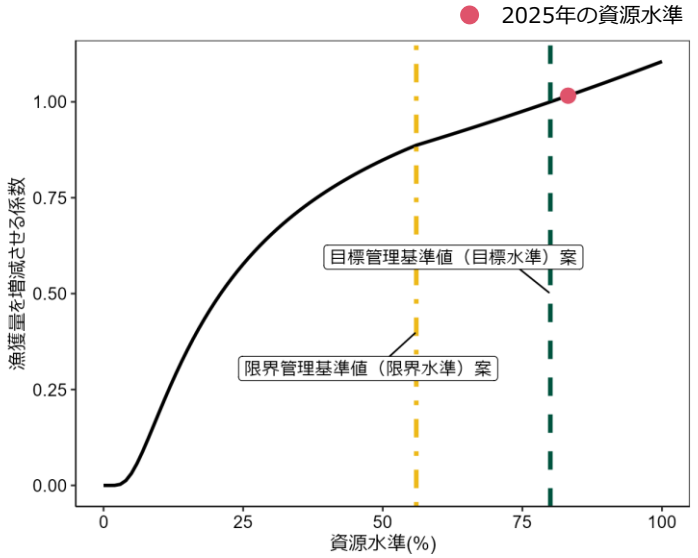


図5　漁獲管理規則案

資源水準に応じて漁獲量を増減させる係数（黒線）を決める漁獲管理規則を提案する。資源水準が目標管理基準値案（緑線）を上回った場合は漁獲量を増やし、下回った場合は削減する。

現状（2025年）の資源水準（83.2%）における漁獲量を増減させる係数（赤丸）は1.02である。

ニギス（日本海系群）③

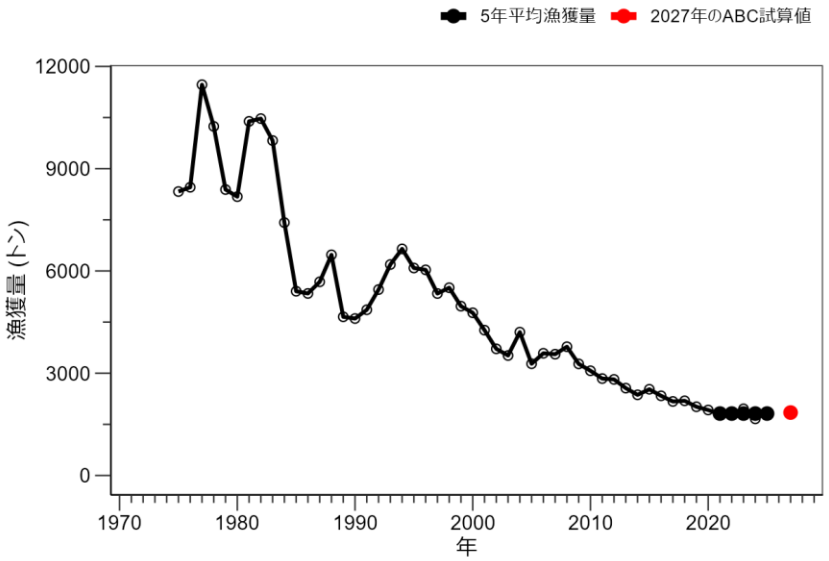


図6　漁獲量の推移と2027年のABC試算値

直近5年間（2021～2025年）の平均漁獲量（黒丸、1,817トン）に2025年の資源水準から求めた漁獲量を増減させる係数（1.02）を乗じて算出される2027年のABC試算値は1,846トン（赤丸）となる。

	資源水準	漁獲量を増減させる係数	資源量指標値（kg/網）
目標管理基準値（目標水準）案	80.0%	1.00	220.0
限界管理基準値（限界水準）案	56.0%	0.89	190.5
現状の値（2025年）	83.2%	1.02	225.1

資源量指標値の推移から求めた資源水準と目標管理基準値案および限界管理基準値案の位置関係に基づき漁獲量を増減させる。
2025年の資源水準は83.2%であることから、2027年のABC試算値は1,846トンと算出される。